

令和6年度

事業報告書



社会福祉法人 大阪市浪速区社会福祉協議会

目 次

I	法人管理運営関係	・・・ 1
1	組織運営体制の強化	
	（1）理事会・評議員等諸会議の開催	
	（2）賛助会員の募集	
	（3）事務局体制の強化	
2	広報研究活動	
	（1）区社協広報誌「わになろなにわ」の発行	
	（2）ホームページやFacebook 等による情報提供	
	（3）法人案内パンフレットの発行	
3	善意銀行の運営	
4	道尾奨学基金の運営	
5	共同募金	
6	日赤業務	
II	地域福祉活動推進関係	
1	地域福祉活動の推進	・・・ 7
	（1）地区社会福祉協議会の支援	
	（2）浪速区居場所づくりプロジェクト	
	（3）地域支援システムにかかる各種専門部会への参画	
	（4）緊急食糧等給付事業	
	（5）福祉啓発イベントの開催	
	なにわ「ふくし ふれあい広場」の開催	
	（6）浪速区社会福祉施設連絡会の支援	
2	生活支援体制整備事業	・・・ 13
	（1）ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築	
	（2）地域資源・サービスの開発等	
	（3）活動の場の開発	
	（4）サービス実施情報の周知等	
	（5）その他	
3	高齢者、障がい者、子ども・子育て福祉活動の推進	・・・ 17
	（1）地域のサロン活動の支援	
	（2）車いす貸し出し事業	
	（3）障がい児親の会等のグループ活動の支援	



(4) 子育て支援ネットワークへの支援	
(5) その他の福祉活動	
4 ボランティア活動の推進	・・・ 25
(1) ボランティアの概況	
(2) ボランティア活動の推進	
(3) 災害に関する取り組み	
(4) 福祉教育の実施	
5 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	・・・ 28
(1) 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整理	
(2) 孤立世帯等への専門的対応	
(3) 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見	
6 地域福祉コーディネート事業	・・・ 32
(1) 実施場所	
(2) 業務内容	
(3) 相談・サポート・見守り等の実績	
7 生活福祉資金貸付事務事業	・・・ 37
(1) 生活福祉資金貸付制度	
(2) 生活福祉資金フォローアップ（緊急小口・総合支援資金）支援	
III あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）	・・・ 39
IV 介護予防事業	・・・ 40
V 地域包括支援センターの運営	・・・ 41
1 包括的支援事業	
(1) 総合相談支援業務	
(2) 権利擁護業務	
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	
(4) 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）	
(5) その他の事業間連携（地域包括ケアシステム）	
2 家族介護支援事業	
3 指定介護予防支援（第1号介護予防支援事業含む）	



VI	認知症初期集中支援推進事業（浪速区オレンジチーム）	・・・	45
1	認知症初期集中支援対象者		
2	会議開催状況		
3	周知活動にかかる取り組み		
4	認知症地域支援推進員にかかる取り組み		
	（1）若年性認知症等の支援困難症例への対応		
	（2）地域の認知症対応力向上にかかる業務		
VII	オレンジサポーター地域活動促進事業	・・・	50
1	登録数		
2	周知活動にかかる取り組み		
3	ステップアップ研修		
4	ちーむオレンジ立ち上げ・後方支援		
5	パートナー企業の活用		
VIII	老人福祉センター管理運営事業	・・・	52
1	令和6年度利用状況		
	（1）利用登録者数		
	（2）個人利用者数		
	（3）団体利用者数		
2	事業内容		
	（1）生きがいづくり、仲間づくり活動		
	（2）高齢者に生きがいと健康づくり推進事業		
	（3）世代間交流事業		
	（4）地域との連携・人材育成		
3	老人クラブ活動の支援と連携		
4	センターの維持管理		
《参考》	令和6年度浪速区善意銀行事業報告	・・・	55

令和6年度 事業報告

I 法人管理運営関係

1 組織運営体制の強化

(1) 理事会・評議員等諸会議の開催

①理事会・評議員会

開催日	会議名	内容
6.6.4	第1回理事会	(1) 令和5年度 事業報告について (2) 令和5年度 決算報告について (3) 令和5年度監査報告について (4) 理事及び役員候補者の推薦について (5) 評議員候補者の推薦について (6) 第1回(定時)評議員会の開催について (7) 評議員選任・解任委員会の選任について (8) 評議員選任・解任委員会の開催について (8) 諸規程の改正について
6.6.19	第1回 評議員会	(1) 令和5年度事業報告について (2) 令和5年度決算報告について (3) 令和5年度監査報告について (4) 理事の選任について
6.11.14	第2回理事会	(1) 令和6年度(中間)事業報告について (2) 評議員候補者の推薦について (3) 評議員選任・解任委員会の持ち回り審査について (4) 諸規程の改正について
7.3.13	第3回理事会	(1) 令和7年度事業計画について (2) 令和7年度収支予算について (3) 理事及び役員候補者の推薦について (4) 令和7年度第2回評議員会の開催について (5) 諸規程の改正について

7. 3. 21	第 2 回 評議員会	(1) 令和 7 年度事業計画について (2) 令和 7 年度収支予算について (3) 理事及び役員候補者の選任について
----------	---------------	--

②評議員選任・解任委員会

催日	会議名	内容
6. 6. 4	第 1 回評議員選 任・解任委員会	(1) 評議員の選任について
6. 11. 26	第 2 回評議員選 任・解任委員会	(1) 評議員の選任について（書面評決）

③地区社会福祉協議会会長会

開催日	会議名	内容
6. 5. 16	地区社会福祉協 議会会長会	(1) 令和 5 年度 地区社会福祉協議会助成金報告について (2) 令和 6 年度 地区社会福祉協議会助成金について (3) 各地区社会福祉協議会の活動について

④地域福祉推進基金運営委員会

開催日	会議名	内容
6. 6. 4	第 1 回基金運営 委員会	(1) 令和 6 年度 地域福祉推進基金事業について (2) 令和 5 年度「居場所づくり」プロジェクト実績・ 精算報告について (3) 令和 6 年度「居場所づくり」プロジェクト応募 申請について

⑤資金運用委員会

6. 11. 14	第 1 回 資金運営委員会	(1) 定期預金運用中の資金の運用について
7. 3. 13	第 2 回 資金運営委員会	(1) 定期預金による運用について (2) 債券による運用について

6.6.4	第1回善意銀行 運営委員会	(1) 令和5年度善意銀行事業報告について (2) 令和5年度福祉ボランティア活動応援資金報告について (3) 令和6年度特定テーマ「福祉ボランティア活動応援資金」の申請
7.3.13	第2回善意銀行 運営委員会	(1) 令和6年度 預託および払い出し状況 (3月10日現在) (2) 令和7年度 善意銀行(一般)の払出について (3) 令和7年度 特定テーマ：福祉ボランティア活動 応援資金について

⑥道尾奨学基金運営委員会

開催日	会議名	内容
6.5	運営委員会 ※書面審議	(1) 浪速区道尾奨学金の支給について

(2) 賛助会員の募集

地域福祉の推進をめざし、だれもが安心して暮らせる「やさしさとぬくもりのある福祉によるまちづくり」を実現するために福祉ニーズに沿ったきめ細かい事業に取り組むための財源として賛助会員を募集。

《会費収入》

住民会費	148名	230,000円	(132名	87,000円)
団体会費	80団体	2,115,000円	(79団体	2,105,000円)
法人会費	5法人	45,000円		
		合 計	2,390,000円	

《参考：令和5年度実績》

住民会費	159名	315,000円	(135名	146,000円)
団体会費	80団体	2,218,000円	(78団体	2,198,000円)
法人会費	10法人	120,000円	(6件	60,000円)
		合 計	2,653,000円	

※()内は、各連合・地区社協でご協力いただいた数字

(3) 事務局体制の強化

①事務局職員会議の定例開催。(月1回程度)

②事務局職員の資質向上を図るため、年間計画により専門分野・人権問題など各種研究に参加。

参 加 日	参 加 し た 研 修 等	開催 場所	参加 人数
6. 8. 23～29	第1回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	34
6. 10. 17～31	第2回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	25
6. 12. 17～24	第3回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	11
7. 3. 3～10	第4回「大阪市社会福祉施設職員人権研修」	WEB	9

2 広報研究活動

(1) 区社協広報紙「わになろなにわ」の発行

区社協の事業紹介や地域福祉活動およびボランティア活動など、地域の身近な福祉情報を区民に提供するため作成した。

発行回数 年2回(9月、2月)

発行部数 各48,500部

配布先 全戸配布、公共施設、福祉関連施設

内 容 地区社協活動の紹介、各種区社協事業、講座案内、老人福祉センター事業紹介など

(2) ホームページやFacebook、LINE(10月5日より開始)等による情報提供

<https://www.naniwa-ku-cosw.or.jp/>

(3) 法人案内パンフレットの発行

区社協の事業や活動の周知を行うための法人案内パンフレットを関係機関等に配布

3 善意銀行の運営

区民からの善意の金銭や物品の預託を受け、必要としている福祉関係機関・団体に払出しをコーディネートした。

○ 金銭関係

金銭預託件数	6 件	986,600 円
金銭払出件数	7 件	1,680,000 円

○ 物品関係

物品預託	3 団体	車いす 2 台、カレンダー、食料
	15 個人	簡易トイレ、ランドセル、日用雑貨等
物品払出	区社協(車いす貸出事業)	車いす 2 台
	区社協(地域活動等)	食器、日用雑貨等
	地域活動団体	食料、折りたたみベッド等
	内訳は＜P. 55～P. 58＞に掲載	

4 道尾奨学基金の運営

平成 3 年に故道尾豊子さんの寄付をもとに教育の機会均等の視点から向学心に燃えながらも家庭の経済的な理由で就学が困難な学生に対し、奨学費を給付することにより学費・生活費の負担を少しでも軽減し、学業の継続を支援することを目的に道尾奨学基金を設立。平成 10 年より区内の中学校と連携し、新入生を対象に高等学校等への入学一時金として支給している。

平成 28 年度から令和 3 年度まで売却益により、1 人 3 万円を支給し、就学生の支援を行っている。

〈支給対象者〉

浪速区に在住する、国公立又は私立の高等学校・高等専門学校に進学する生徒で、大阪府育英会の貸与決定者

〈令和 6 年度 支給状況〉

奨学費支給者数 47 名 奨学費支給総額 1,410,000 円

〈奨学基金管理状況〉

大和ネクスト銀行 定期預金(円定期預金)

100,000,000 円(内 55,000,000 円) R3.12.25～新規 年利率 0.15%

令和6年度末	奨学金基金	55,000,000 円
	奨学金資金	9,972,659 円
令和5年度末	奨学金基金	55,000,000 円
	奨学金資金	11,269,728 円

5 共同募金

浪速地区募金会業務の実施。募金会の運営、共同募金業務（目標額の設定・募金業務・収納送金業務等）、広報・啓発、会計を行う。

・令和6年度の募金総額：浪速地区募金会取扱い分

一般募金収入 1,443,846 円

また、区社協に配分された配分金を地区社協、各種団体の活動へ助成し、地域福祉の向上に活用した。なお、各助成先の活動報告は、中央共同募金会のホームページ上で公開している。



令和5年度共同募金事業精算書

内容（交付先）		執行額	区分
	各地域高齢者食事サービス事業	319,650 円	地区助成
	地区社協事業補助金	1,102,150 円	地区助成
地区助成 合計		1,421,800 円	
	福祉ふれあい広場事業	22,046 円	区事業
区社協事業 合計		22,046 円	
地域・その他特別配分金 合計		1,443,846 円	

6 日赤業務

日本赤十字社大阪府支部浪速地区業務の実施。社資の募集・収受・大阪府支部への送金等業務及び、それらに伴う事務処理を行う。共同募金とは異なり羽根やバッジはなく、社資の受取りと府支部への送金が主な業務。

（令和6年度の社資総額） 社資収入 2,827,000 円

Ⅱ 地域福祉活動推進関係

1 地域福祉活動の推進

(1) 地区社会福祉協議会の支援

地域の高齢者や障がい者、子どもなど誰もが地域の中で安心して生活できるよう地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小地域で行う体制の整備を進めている。地域福祉活動・社協活動の基本である地区社会福祉協議会事業の組織基盤強化と地域住民による主体的な福祉活動の推進のための助成を行った。また、助成に伴う事業説明会の実施、助成金の交付・精算手続きの支援、地域で実施する活動への情報提供等を行った。

令和6年度 地区社協における事業に関する助成金(区社協独自支出) 一覧表							
地区名	基本 運営費	事業 助成金	事業助成金 支出内訳		敬老行事 助成金	食事サービス 助成金	合計
難波	¥40,000	¥50,000	新川地蔵盆カーニバル	¥10,000	¥20,850	¥9,550	¥120,400
			子育てサロンまんまるハウス	¥10,000			
			子ども会花火大会	¥30,000			
元町	¥40,000	¥200,000	夜警歳末	¥40,000	¥79,650	¥23,850	¥343,500
			元町地蔵祭り	¥40,000			
			百歳体操	¥70,000			
			花火大会・なんもと夏フェスティバル	¥50,000			
立葉	¥40,000	¥147,000	家庭菜園	¥37,000	¥22,100	¥49,100	¥258,200
			料理教室	¥10,000			
			世代交流やまちづくりに資する事業	¥100,000			
幸町	¥40,000	¥145,000	もちつき大会	¥50,000	¥75,200	¥8,800	¥269,000
			ラジオ体操	¥35,000			
			子ども布団太鼓祭	¥60,000			
塩草	¥40,000	¥310,000	塩草大運動会	¥155,000	¥150,400	¥30,600	¥531,000
			塩草盆踊り大会	¥155,000			
浪速	¥40,000	¥180,000	ふれあい喫茶	¥70,000	¥118,000	¥0	¥338,000
			学習支援ルーム	¥80,000			
			百歳体操	¥30,000			
大国	¥40,000	¥230,000	百歳体操	¥100,000	¥139,000	¥55,000	¥464,000
			地域コミュニティ事業	¥130,000			
敷津	¥40,000	¥195,000	しきつ納涼祭	¥100,000	¥97,350	¥40,650	¥373,000
			もちつき大会	¥50,000			
			百歳体操	¥45,000			
恵美	¥40,000	¥26,000	えみっこまつり・えみっこ花火大会の運営	¥10,000	¥83,700	¥8,800	¥158,500
			えみっこラジオ体操	¥16,000			
新世界	¥40,000	¥20,000	「おしゃれ」喫茶サロン	¥10,000	¥40,300	¥9,800	¥110,100
			朝の見守り	¥10,000			
日東	¥40,000	¥348,000	安全パトロール	¥35,000	¥160,500	¥68,000	¥616,500
			地域防災活動	¥25,000			
			こども活動事業	¥56,000			
			食事会の運営・喫茶サロン・高齢者見守り活動	¥150,000			
			子育てサロン・ラジオ体操	¥82,000			
日本橋	¥40,000	¥118,000	ふれあいコンサート	¥30,000	¥115,100	¥15,500	¥288,600
			百歳体操	¥20,000			
			高齢者見守り	¥18,000			
			盆踊り	¥50,000			

(2) 浪速区居場所づくりプロジェクト

浪速区の住民が住み慣れたまちで孤立することなく生活していくために、これまでに区内で取り組まれてきたサロンなどの住民主体の福祉活動を手本とし、地域での「居場所」、つながり・支え合いづくりを推進するもの。地域福祉推進基金を活用した助成や活動の立ちあげ・運営支援を令和6年度には「こども食堂」4ヶ所に対して行った。

【 たべる・あそぶ・まなぶ 浪速区こども食堂 】

令和6年度は、4ヶ所のこども食堂に対し活動助成・運営支援を行った。また、大阪市社会福祉協議会が実施し、企業からの物資提供や体験活動等のマッチングが行われる「地域こども支援ネットワーク」の物資提供や研修参加等の支援も行った。

大国こども食堂まんぷく

～ご近助の力で、こどもたちの見守りを～

開始年月	平成28年9月
実施主体	大国こども食堂実行委員会
協力	大国連合振興町会、大国地区社会福祉協議会、 大国小学校
実施日時	毎月第3水曜 午後4時～5時
支援内容	活動助成

浪速こども食堂チェリー

～地域・学校・行政の連携でこどもの生活に寄り添う～

開始年月	平成28年9月
実施主体	浪速地区社会福祉協議会、女性部、民生委員 児童委員、防犯委員、青少年指導員、 学習支援ルームコスモス卒業生のほか
協力	浪速地域ボランティア、栄小学校、浪速区役所、浪速警察署、 吉本興業(株)、おおさかパルコープ、ライフビオラル靱店、 (株)オズマピーアール、こどもの居場所サポートおおさか
実施日時	毎月第1・3水曜 午後5時半～8時
支援内容	活動助成

浪速区青指こども食堂

～中学生が気軽に集う憩の場～

開始年月 平成30年3月

実施主体 浪速区青少年指導員連絡協議会

協力 ドン・キホーテ新世界店、大阪浪速ライオンズクラブ、十一会、
公益財団法人オリックス宮内財団、(株)蓬萊本館

実施日時 原則毎月最終日曜 午前11時～午後3時

支援内容 活動助成

敷津こども食堂わいわい

～子どもも大人も一緒に集える居場所～

開始年月 平成30年11月

実施主体 敷津こども食堂実行委員会
(敷津地域子ども会・敷津連合振興町会)

協力 のんき亭、十一会

実施日時 原則毎月第3土曜 午前12時～午後3時

支援内容 活動助成

(3) 地域支援システムにかかる各種専門部会への参画

地域自立支援協議会 (区役所主催) 年間1回参画

地域ケア会議 (地域包括支援センター主催) 随時参画

障がい者・高齢者虐待防止連絡会議 (区役所主催) 年間1回参画

(4) 緊急食糧等給付事業

本会が実施する事業の中で、生活上の困窮状況等を把握した方に対し、食料などの生活に必要な現物(以下「食糧等」という)を給付することにより、各事業での対象者への生活支援の一助とすることを目的として実施。

【対象者】他の福祉サービス等利用を優先しても利用が見込めない等、おおむね以下に該当する場合に、関係機関の協議を経て、区社協支援担当者会より対象者の決定を行った。

- (1) 区社協が運営する事業にて困窮状況を把握した方
- (2) 区社協が運営する事業にて生命維持が困難であると疑われる方
- (3) 区社協が運営する事業にて虐待状態にあることが疑われる方
- (4) 区社協が運営する事業にてセルフネグレクトが疑われる方
- (5) この事業を活用することにより、他の福祉サービス等の利用が将来的に見込める方

(5) 福祉啓発イベントの開催

なにわ「ふくしふれあい広場」の開催

開催日：令和6年11月2日（土）午前11時～午後3時

場所：浪速スポーツセンター3階第1・2体育場

参加人数：約680名

内容：舞台出演（シタール演奏・歌謡コンサート・手話歌体験・善意銀行贈呈式
オレンジ川柳表彰式・大型絵本読み聞かせ 他）

福祉体験（手話教室・点字体験・ニュースポーツ体験・マッサージ体験

コーナー（手作りおもちゃ・作品展示・フリーマーケット・

バルーンアート・子どもの遊具・ネイル体験・絵本の読み聞かせ

スマホ相談・体力測定・介護相談 他）

主催：浪速区社会福祉協議会

参画：約50団体（施設・個人・ボランティアグループ他）



「天童よしみ」そっくりさん 歌謡コンサート



障がい児を持つ家族の会



善意銀行表彰式



みんなで盆踊り



ニュースポーツ体験



高齢者の作品展



手話歌「ふるさと」



点字体験

(6) 浪速区社会福祉施設連絡会の支援

41の施設・事業所で構成される「浪速区社会福祉施設連絡会」の事務局として、連携支援を行った。総会（1回／年）、幹事会（4回／年）、定例会（3回／年）、合同学習会（1回／年）を開催した。また、参加施設の要望に沿った運営を心掛け、令和6年度のテーマである「社会福祉施設と地域、ボラティアの関わりについて」に関する学習会を開催した。更に「社会福祉施設と地域、ボラティアの関わり」に関するアンケートを会員施設の対象に実施し、結果に関する意見交換を行い、社会福祉施設と地域、ボラティアの関わる意義について考える機会を提供した。

○年間活動内容

月 日	内 容
6.5.23	幹事会 ・令和6年度年間計画について ・総会の開催について ・その他情報交換 参加施設：9施設 参加者：9名
6.7.3	総会 ・令和6年度の役員および幹事について ・令和5年度の活動報告について ・令和6年度の活動計画について 案内施設：13施設 参加者：15名
6.9.12	幹事会 ・定例会（1月）について ・施設職員交流会について 参加施設：6施設 参加者：7名
6.9.12	定例会 ・施設見学会（なにわ工房、愛染園愛染橋児童館・保育所） ・その他情報交換 参加施設：9施設 参加者：12名
6.11.26	臨時幹事会 ・定例会（1月について） ・各分野の連絡網について ・「社会福祉施設のボランティア受入れ」についてのアンケート実施について ・その他情報交換 参加施設：7施設 参加者：7名

7.1.30	定例会 ・「社会福祉施設と地域やボランティアの関わりについて」のアンケート結果について ・グループワーク「社会福祉施設と地域やボランティアの関わりについて」 ・その他情報交換 参加施設：14施設 参加者：17名
7.2.7	一水会・区社会福祉施設連絡会合同学習会 ・合同学習会
7.2.28	定例会 ・講義 「つながるってどういうこと？-生きるを支える対話とケアの可能性」 山王訪問看護ステーション 吉村 友美氏 ・グループワーク「もしバナゲーム」 ・その他情報交換 参加施設：10施設 参加者：11名
7.3.5	幹事会 ・令和6年度の活動振り返り ・令和7年度計画について ・加盟施設募集チラシ(案)について ・その他情報交換 参加施設：9施設 参加者：9人

2 生活支援体制整備事業

平成29年11月より開始。高齢者が地域でいきいきと健康に暮らし続けるための場づくりにかかる立上げ支援・連絡調整、情報提供等を行う。そのために生活支援コーディネーター（SC）が配置され、「協議体」の開催等により、専門職及び行政・関係機関と連携し、取り組んでいる。また、他部署や関係機関との連携強化を目指し、独自事業への取り組みや、情報共有のための会議等を開催している。

また、令和3年度より生活支援体制整備事業の強化として、既存の生活支援コーディネーター（第1層生活支援コーディネーター）に加えて、第2層生活支援コーディネーターが配置された。

(1) ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

【内 容】第1層・第2層協議体、地域資源の把握、整理など。

◆「第2回生活支援体制整備事業協議体会議（第1層）」の開催

※第1回目は、令和6年8月22日（木）に開催し、「中間報告」にて報告済み

- | | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和7年2月27日（木）午後2時～3時30分 |
| 開催場所 | 浪速区社会福祉協議会 1階多目的室 |
| 内 容 | 令和6年度の取り組み状況について（一部抜粋） <ul style="list-style-type: none">・ナニワモバイルお助け隊（区域全体）・とくし丸買い物支援（立葉地域 大浪橋住宅）・多文化共生～エール学園との関わり～（区域全体）・地域助け合いボランティア立ち上げ支援（難波地域）・男性の居場所講座～シニア男性のためのだし講座～（区域全体） だし講座交流会 シニア男性サークル名【なにわ100男 ^{だん} 】を立ち上げる
意見交換 <ul style="list-style-type: none">・テーマ① 高齢者の居場所について
「こんな居場所があればいいな～」・テーマ② 高齢者のスマホ利用について意見交換 |

(2) 地域資源・サービスの開発等

【内 容】新規立ち上げ・既存資源の拡充、既存資源への継続支援、講座開催等

◆男性の居場所講座～シニア男性のためのだし講座～

この事業は、男性の居場所が少ないという課題から男性高齢者を対象に、新

たな趣味や得意なこと、役割を見つけ、地域の中で暮らしを楽しみながら地域活動に参加し社会とのつながり作りや引きこもり防止を目的としている。

- | | | |
|-------|----------------|-----------|
| ○開催日時 | ①令和6年10月3日（木） | 午前10時～12時 |
| | ②令和6年10月17日（木） | 午前10時～12時 |
| | ③令和6年11月14日（木） | 午前10時～13時 |
| ○開催場所 | ①浪速区在宅サービスセンター | |
| | ②浪速区役所 3階講義室 | |

③浪速区役所 3階栄養講習室

○参加人数 浪速区内在住の65歳以上の方13名

○内 容 ①鰹節の削り体験と講義

②さまざまなだしの解説と飲み比べ

③老舗鰹節屋のオリジナルブレンドだしで正月料理を作ろう！



講義の様子



調理実習の様子

◆シニア男性サークル「なにわ100男」立ち上げ

だし講座受講者交流会からサークルが立ち上がり、メンバーのやりたいことを実現するシニア男性の居場所として活動をしていく。

◆ナニワモバイルお助け隊（区域全体）

令和3年度より、スマートフォン（以下 スマホ）の使い方を学び、地域住民にスマホ講座を実施。講座修了後、受講生が集まり定例会を重ね、ボランティアグループ「ナニワモバイルお助け隊」が発足。

今年度は、老人センターでの勉強会・相談会に加え、本会や地域の会館での勉強会・相談会も行っている。

○活動内容 毎月第2金曜日 本会での勉強会・相談会

毎月第3火曜日 老人福祉センターでの勉強会・相談会

毎月第3水曜日 定例会

エール学園との勉強会・交流会

11月3日（土）ふくしふれあい広場参加

地域会館での相談会、随時開催



相談会



老セン相談会

◆買い物支援（立葉地域大浪橋住宅）移動スーパーとくし丸

大浪橋住宅1・2号棟集会所前で移動スーパーとくし丸を開催している。

近くにスーパーがなく、買い物が困難な方が利用されている。

○開催日時 毎週木曜日 14時～14時30分



買い物の様子

(3) 活動の場の開発

【内 容】コーディネーター会議の開催、介護予防に資する住民主体の通いの場
展開状況シートの調査と作成

◆コーディネーター会議の開催

浪速区社協内での他職種連携をより推進していくことを目標にボランティアコーディネーター、強化型包括担当、認知症地域支援コーディネーター、生活支援コーディネーターの4名で月1回浪速区社協コーディネーター会議の名称のもと、会議を開催。

○開催日時：毎月第2金曜日 午前10時30分～11時30分

○開催内容：各事業からの情報共有、事業連携について等

◆わになろなにわ健康塾

令和2年度、コロナ禍で外出自粛が続く中、個人で健康づくりに取り組むきっかけ作りとして、区社協・大阪府作業療法士会と協働して「わになろなにわ健康塾」を本会独自で開催し、以後、継続して開催している。本会内では包括とオレンジチーム、生活支援コーディネーター、ボランティア担当で協働している。

○目 的 体力測定や認知機能検査等をとおして、参加者自身のココロとカラダの状態を知っていただき、より効果的な健康づくりに向けて、目標をもって生活することの大切さを学ぶ。

○開 催 9月～12月（月1回）の全4回コース

○講 師 大阪府作業療法士会

○場 所 UR アーベインなんば集会所

☆令和2～5年度の修了者が、健康塾のサポーターとして参加される。

◆介護予防に資する住民主体の通いの場展開状況シートの調査と作成

介護予防に資する、通いの場として100歳体操、高齢者食事サービス、喫茶やサロン、元気はつらつ教室、生涯学習、趣味活動、運動サークルなどの調査と一覧を作成。

(4) サービス実施情報の周知等

【内 容】高齢者の便利帳や広報誌の発行、SNSの活用 (Facebook や LINE 等)

◆「高齢者の便利帳2025」をWEB上で更新する。

地域で取り組まれている地域福祉活動、各種相談窓口、活動
拠等、高齢者の社会参加を促す情報をまとめた冊子として

1,00部発行。カレンダーページを設けるなど、地域の活動

者や関心のある方が手に取っていただける内容を目指して作成しており、ニーズに合った内容を更新している。



(5) その他

【内 容】各種会議への参加

◆各種会議への参加

自立支援型ケアマネジメント検討会議 (月1回)

定期地域ケア会議 (年2回)

認知症初期集中支援事業関係者会議 (年2回)

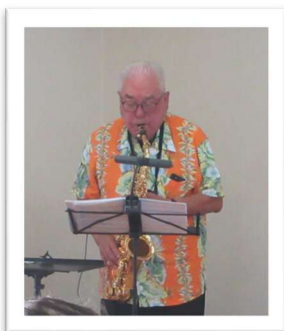
3 高齢者、障がい者、子ども・子育て福祉活動の推進

(1) 地域のサロン活動の支援

①高齢者食事サービス (ふれあい型)

各地域の高齢者食事サービス委員会が実施主体となり実施している「ふれあい型食事サービス」事業は、高齢者と地域の人々とのふれあいを深め、閉じこもりを予防し、健康の増進を図ることを目的としている。

閉じこもりがちな高齢者への周知や参加者が楽しめるレクリエーションなどの支援・協力を行った。(園児と高齢者の交流も行った)



講師の紹介

地域のお楽しみ会の開催支援

○出前講座（情報提供・レクリエーションの実施など） 110回

出前講座 地域別実施内訳

地域名	場 所	食事会	その他 (老人会他)
難 波	難波地域集会所	9 回	1 回
元 町	元町老人憩の家	11 回	1 回
立 葉	立葉老人憩の家	6 回	1 回
幸 町	幸町老人憩の家	6 回	0 回
塩 草	塩草老人憩の家	7 回	4 回
浪 速	浪速南公園集会所 他	—	4 回
大 国	大国集会所 他	0 回	2 回
敷 津	敷津連合会館 敷津東住宅集会所	7 回 11 回	1 回
恵 美	恵美会館	2 回	4 回
新世界	新世界老人憩の家	6 回	1 回
日 東	日東雲井橋会館 日本橋南振興町会集会所	0 回 12 回	1 回 1 回
日本橋	日本橋連合会館	10 回	2 回
合 計		87 回	23 回



高齢者食事会



高齢者食事会園児と交流

②ふれあい喫茶

地域で暮らす人たちが集い・交流することができる場を作ることを目的としてコーヒー・ジュースなどを１００円程度で提供する「ふれあい喫茶」活動が各地域で行われている。チラシの配架やポスター掲示・口頭などの周知に協力した。また、自宅に閉じこもりがちで人とのつながりがなく、認知度や体力が低下した方や独居で寂しい方を対象におしゃべりサロンの開催された地域への支援も行った。

幸町喫茶が、建物２階で開催されているため、高齢者が利用しにくい状況である。そこで、建物１階で開催できる場所において２か所の喫茶を、令和６年６月にオープンした。近隣の３地域の方が利用されていて交流の場となっている。

開催に向けて数回の会議を行い、周知や表示物の作成などの支援協力を行った。

○定例の活動○

地域名	場 所	実 施 日	グループ名
立 葉	木津川コミュニティ会館 立葉会館老人憩の家	第２日曜日 午後１時３０分～ 第４日曜日 午後１時３０分～	「チロリン村」 「 憩 」
幸 町	幸町老人憩の家 塩草連合北集会所	第３土曜日 午後１２時３０分～ 第３月曜日 午前１１時３０分～	「幸町」 「レモン」
塩 草	塩草老人憩の家	第４水曜日 午前１０時～	「にこにこ」
浪 速	浪速地域 ネットワーク事務所	第１日曜日 午前１０時～ 第３水曜日 午前１１時３０分～	「さくら」
大 国	大国集会所	第１・３木曜日 午前１０時～	「なでしこ」
敷 津	敷津連合会館	第４火曜日 午前１０時３０分～ 年３回 第４火曜日１０時３０分～	「たぶの木」 「おやじ喫茶」
恵 美	恵美会館	第１火曜日 午後１２時３０分～	「ほほえみ」
日 東	日東雲井橋会館 日本橋住宅２号館集会所 日本橋西住宅集会所	第１・３火曜日 午前１１時～ 第２日曜日 午前１１時～ 第３日曜日 午後１時～	「 愛 」 「あじさい」 「そよかぜ」
日本橋	日本橋振興町会集会所 御蔵跡振興町会事務所	第１・３土曜日 午後１時～ 第２・４金曜日 午後１時～	グーチョキパー」 「おくらと」

③盆踊り愛好会への支援

令和6年6月に浪速区「盆踊り愛好会」を結成し、開催にかかる支援を行った。
(毎回、「大国盆踊り研究会」に講師の派遣を依頼)

子どもから高齢者まで、だれもが参加できる盆踊りを通じて、住民同士の交流を計る。また、踊りの練習（習得チームと初心者チームに分かれて）をするだけではなく、練習後に「お茶飲みおしゃべり会」を開催し、閉じこもりがちな高齢者が、子どもたちとも接し、フレイル（病気ではないが、年齢とともに筋力や心身の活力が低下すること）予防にもなっている。区内の盆踊り大会や「ふくしふれあい広場・「ナニワ区民まつり」にも、出演や参加をしている。



盆踊りの練習風景



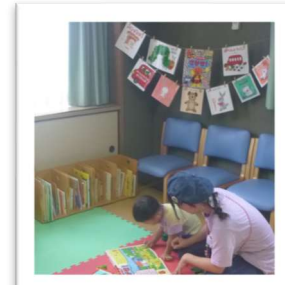
踊った後の喫茶「おしゃべり会」

④子育てサロン

区内4か所で月1回開催されている子育てサロンでは、次の運営支援を行った。

- ・参加を中断している利用者に再開を広く周知した。
- ・区役所子育て支援室と連携し、随時、開催に係る新規情報を共有し、周知を行った。
- ・寄付でいただいた、おもちゃやおしりふきなどを利用者にプレゼント用として提供した。
- ・最近、利用者が減少気味のため、スタッフと検討会を実施し、バルーンアートの講師を呼ぶなどの工夫をした。
- ・子育てサロンの開催中に災害などが起きた時のために、防災士に会場を見てもらい、災害時の避難通路や逃げ場などを一緒に学んだ。

また、同時に、備えておけば助かる便利防災グッズの紹介も行った。



保護者同士の交流・情報交換・収集の場です！

えほんの貸し出しもしています

○定例の活動○

地域名	場 所	実 施 日	愛 称
難 波 元 町	浪速スポーツセンター 1 階 難波地域集会所	第 1 金曜日 午前 1 0 時 4 5 分～	「まんまる はうす」
幸 町	幸町会館	第 2 水曜日 午前 1 0 時 3 0 分～	「しあわせ」
塩 草	塩草老人憩の家	第 2 土曜日 午前 1 0 時 3 0 分～	「にこにこ」
日 東	子ども・子育てプラザ	第 3 金曜日 午前 1 0 時 3 0 分～	

⑤ランチタイムコンサートの開催（8月・1月の2回開催）

老若男女を問わずに、昼食や喫茶で会話を楽しんだ後に、音楽を通じて季節を感じてもらう場として開催。視覚障がい・車いす・認知症の方の参加もあり、また、区社協職員が送迎支援なども行い、大変喜ばれた。



1 / 2 5 ニューイヤーコンサート



喫茶コーナー



7 / 2 7 夏のコンサート

(2) 車いす貸し出し事業

外出による社会参加促進や緊急対応などの理由により車いすを必要とする歩行が困難な高齢の方や障がいのある方、福祉活動の啓発を目的とする講習会を行う学校、企業等に対して車いすの貸し出しを行うことにより地域福祉の推進を図った。

実施方法 : 浪速区社会福祉協議会並びに地区社会福祉協議会で運営

貸出人数 : 浪速区社会福祉協議会 1 5 6 名

(延べ) 各地区社会福祉協議会 9 0 名

(地域福祉サポーターの協力により実施)

保有台数 : 計 6 9 台 (こども用 3 台含む)



(3) 障がい児親の会等のグループ活動の支援

障がいをもつ子どもと保護者の居場所作り事業「ホッとサロンレインボー」の運営支援（活動場所や遊具の提供、活動ボランティアの調整など）及び活動費に関する支援「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」申請等に係る書類の作成及び手続）の補助をした。

○ホッとサロンレインボーの活動状況○

開催日	場 所	内 容	参加 人数
6. 4. 13	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・昼食交流会)	39名
6. 5. 11	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・昼食交流会)	27名
6. 6. 8	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会) 七夕の短冊づくり	27名
6. 7. 13	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・昼食昼食会 他)	31名
6. 8. 3	浪速区社会福祉協議会	○(自由遊び・昼食交流会) 精神障がい者団体と合同開催 「夏まつり」：模擬店や縁日コーナー	54名
6. 9. 14	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・昼食交流会) 紙芝居・合唱 他	36名
6. 10. 12	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・交流昼食会) 合唱・歌体操 他	26名
6. 11. 2	浪速スポーツセンター	○「ふくしふれあい広場」出展・出演	15名
6. 12. 9	浪速区社会福祉協議会	○(自由遊び・交流昼食会) クリスマス会ツリー作り・サンタさんからプレゼント・紙芝居・合唱 他	24名
7. 2. 8	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・昼食交流会) 若年性認知症の団体による紙芝居 子どもたちのピアノや太鼓演奏に合わせて合唱 他	41名
6. 3. 8	浪速区社会福祉協議会	○定例会(自由遊び・昼食交流会) ピアノに合わせて歌や手遊び	39名

※「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」とは？→イオンで買い物した人が毎月１１日に発行される黄色いレシートを店舗に設置されている専用ボックスに入れ、その合計金額の１％をその店舗で購入ができるギフトカードとして福祉活動団体に対して提供してもらえるキャンペーンです。



昼食交流会



ボランティアさんの
手作り



ふれあい広場出演



自由遊び風景



みんなで合唱



夏まつり（魚釣りやスーパーボール）

（４）子育て支援ネットワークへの支援

「なにわっ子ネット（子育て支援ネットワーク会議）」等への参画 １２回

開催日	場 所	内 容
6. 4. 9	浪速区役所	「なにわっ子フェスタ」の開催について 他
6. 5. 8	浪速区役所	「なにわっ子フェスタ」担当国会議 他
6. 6. 11	浪速区役所	「なにわっ子フェスタ」担当国会議 他
6. 7. 5	浪速区社協	「なにわっ子フェスタ」前日準備
6. 7. 6	浪速スポーツセンター	「なにわっ子フェスタ」開催（子育てサロン・楽生クラブ）
6. 9. 11	浪速区役所	「なにわっ子フェスタ」ふりかえり 他
6. 10. 8	浪速区役所	「なにわっ子コンサート」の開催について

6. 11. 13	浪速区役所	「なにわっ子コンサート・えほんフェスタ」の開催について
6. 12. 10	浪速区役所	「おやこえほんフェスタ」の開催について
7. 1. 8	浪速区役所	「おやこえほんフェスタ」の開催について
7. 1. 23	浪速区役所	「おやこえほんフェスタ」の開催
7. 3. 12	浪速区役所	令和6年度「なにわっ子フェスタ」の開催について

- ・子育て関連の情報交換や子育て支援事業を協働で企画
- ・子育て支援情報紙「なにわっ子ねっと」の発行（年4回）
- ・子育て施設行事カレンダーの作成に係る情報提供
- ・他の子育て施設等の情報紙やマップ等の配架
- ・「なにわっ子フェスタ」の運営に係る準備・出演他協力
- ・子ども向けの寄付物品に対するパイプ役となった
→ランドセル・遊具などの寄付を払い出した。
- ・開催にかかるのぼりの作成



なにわっ子フェスタ



おやこえほんフェスタ



音楽コンサート

（５）その他の福祉活動

- ・各種助成金や補助金制度の案内・支援
地区社協、ボランティアグループ、福祉団体、福祉施設などへ活動支援の一環として情報提供。
- ・介護者家族の会「なでしこ」の活動支援
毎月第4火曜日に開催。地域福祉活動支援担当、地域包括支援センター、オレンジチームが専門的助言者として参画。広報誌やホームページ、Facebook等周知活動を実施。

4 ボランティア活動の推進

ボランティアの育成、サポートを行うことで市民活動の理解、関心を高めるほか、多種多様な活動団体とのネットワークを広げている。

また、地域福祉の推進を目標に様々なプログラムにも取り組んだ。

今年度もコロナ禍の影響が残っており、高齢者施設などのボランティア受入れができない状況は継続しており、完全にコロナ禍前に戻っていない部分もある状態であった。しかし、コロナ禍後の状況に合わせた新たな活動を活動者と共に模索しながら活動再開支援を継続した。



(1) ボランティアの概況

①ボランティアの登録状況(令和7年3月末時点)

個人登録	43名
登録グループ	10グループ(延べ活動者数8人)

②ボランティアグループ一覧

	グループ名	会員数	主な活動内容
1	点訳サークル「浪速」	9名	パソコンを使って、点訳本や、区内保育施設へ寄付する名前しおり、カレンダーの作成 令和6年度は年間通して「大阪の教科書(JTBパブリッシング出版)」を点訳し、区内保育施設10か所383名の名前入りしおりを作成
2	喫茶ボランティアグループ「さくら」	8名	毎月第3土曜日、特別養護老人ホームそんぽの家なんばにて活動
3	精神保健福祉ボランティアグループ「黄色いカエル」	8名	作業所なにお工房で昼食会のお手伝い、土曜サロンの開催
4	手作りボランティア「ま〜るい会」	25名	楽しくおしゃべりしながら作品づくりを楽しんでいる。手芸活動にこだわらず高齢者の居場所となるよう取り組んでいる。
5	保育ボランティアグループ「いちごみるく」	4名	区役所、子ども・子育てプラザなど区内の施設で保育ボランティア活動

6	おれんじはあとの会	8名	認知症を抱える方や、介護家族の方を支える応援者として、同じ思いを持って頑張っている仲間と手を繋ぎ語り合いながら、体験実習やボランティア活動の場づくりを行っている。
7	なにわおもちゃ病院	4名	毎月第3土曜日、老人福祉センターにておもちゃ好きの人、おもちゃを直したい人が集まって活動
8	T e a m MYND	4名	浪速区、オタロードを拠点にゴミ拾いのボランティアをゲーム感覚で行っている。その他区内の保育園や外国語学校と連携し、各種イベントなどを開催
9	ボラステぼっぼ	4名	こどもを中心に、こどもたちが多様な人と接しながら成長し、つながりをつむぐことを大切に活動
10	素人寄席 天満天神の会	10名	・落語会（定期発表会、自主落語会、ワッハ上方天満天神寄席、出前高座、稽古会） ・手品、玉すだれ等のレクレーション、手作り工作等 ・会報 満天通信の発行

③個人ボランティア

当会主催の認知症サポーター養成講座や健康塾からの個人ボランティア登録もあり、他事業と連携しながらの新規開拓となった。また、社会復帰の第一歩としての登録もあるため、寄り添いながらの活動支援を行った。

④学校園、教育機関との連携

エール学園、第一学院高等学校など区内の学校園とつながり、就職や進学につながらボランティア活動の支援を行った。また、夏のボランティア体験では、区内の中学校の教師が「いい経験になる」と紹介があり、中学生の参加も見られた。

⑤ その他の支援

- ・ボランティアグループの定例会に出席し、情報の収集
- ・ボランティアグループを対象に活動場所の提供

(2) ボランティア活動の推進

- ①夏のボランティア体験の実施
- ②ふれあいコンサートの実施
- ③なんば de ゆかたなど外国籍の若者を地域へつなぐ企画の実施
- ④ふくしふれあい広場の実施
- ⑤健康展など区役所主催行事への参画
- ⑥フリーマーケットの実施

(3) 災害に関する取り組み

災害対策に関する対応についての体制整備を目的に専門家から助言をもらいながら計画的に研修等を実施し、区役所との合同防災訓練にも参加した。

月		内 容
5	第1回	災害対応全般。災害対策本部の開設・運営要領及び各班の役割等
7	第2回	区対策本部の各担当等の実習、対策本部各班・各職員の活動要領
9	第3回	災害対策本部活動実習。本部開設～活動実習、各種状況への対応
10	第4回	区役所合同訓練の予行。地震発生～対策本部設置～運営
11	合同訓練	区役所合同訓練への参加。区役所計画：区社協参加要領を事前調整
12	第5回	区災害ボランティアセンターの具体化、区設置場所の再検討について
2	第6回	災害ボラセン活動情報発信、ニーズ把握、災害ボラセン開設準備～開設
3	第7回	区社協施設内での災害ボラセン開設要領の実習

(4) 福祉教育の実施

開催日	対 象	内 容
6.1.29	難波中学校	車いす体験及び当事者の講義
6.10.21	栄小学校	アイマスク体験及び当事者の講義
6.10.29		車いす体験及び講義
6.12.16	塩草立葉小学校	聴言障害者協会・手話通訳士による手話体験
7.1.29	難波中学校	車いす体験
7.2.4	塩草立葉小学校	アイマスク体験

※実施するにあたり、学校との打ち合わせを重ね、講師の手配や地域福祉サポーターの協力を得るなどの調整を行う。また、車いすやアイマスクなどの備品の貸し出しも行った。



難波中学車いす体験



当事者からのお話

5 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

(1) 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整理

見守り相談担当が災害時や日ごろの見守りを希望される対象者を本人同意のもとで訪問し、実態を把握したうえで登録する「要援護者名簿」を作成し、区長が認定した見守り活動を行う団体にリストを提供した。緊急事態への準備として同意の方に「そなえカード」を作成し、控えを自宅保管していただいている。また、同意書が未返信の方には訪問や電話で意向確認を行い、「要援護者名簿」の充実を図った。

【対象者】

- ・高齢者で要介護3以上、もしくは要介護2以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方
(※自力で立ち上がり、歩行ができない方及び身体的に何とか自力で歩行することが可能であっても、日常的に支障をきたすような認知症の症状・行動や意思疎通の困難さがあり、誰かが注意しておくことが必要な状態の方)
- ・重度障がいのある方、難病患者の方

◆令和7年3月7日作成分「要援護者名簿」

記載者数：1,876人

提 供 先：各地区民生委員児童委員協議会、各地域活動協議会、
各地域振町会

◆「地域見守り会議」の開催

目 的 高齢者の孤立防止のため、区役所と区社協が主催する「地域見守り会議」を協働し、地域とのつながりや見守り活動を促進する。

開催地域 敷津地域、難波元町地域

- 開 催 日 敷津地域：令和6年11月7日（木）敷津連合会館
難波元町地域：令和7年2月7日（金）浪速区社会福祉協議会
- 内 容 （1）講義：要援護者名簿について・個人情報の取り扱いについて
（2）DVD視聴：「平時における地域の見守りの必要性と意義」
（3）個人ワーク：「日頃、ゆるやかな見守りができそうな人、している人、ほったらかしにしてはいけない人、訪問できそう、訪問した方がいい人、名簿には載っていないけど気になる人」を要援護者名簿に個人でチェック。
（4）グループワーク：要援護者名簿に記入した内容をもとにグループでマッピング、情報共有
- 参 加 者 町会長、女性部、民生委員児童委員、地域福祉サポーター、区役所、区社協、見守り相談室、ランチ、包括、オレンジチーム等



◆「民生委員児童委員協議会における研修会」の開催

- 目 的 日ごろのつながりの重要性について災害時の視点から考える。
- 開催地域 大国地域
- 開 催 日 令和6年6月26日（水）午後1時45分～午後14時45分
- 場 所 大国小学校
- 参加者数 民生委員児童委員 13人
- 内 容 能登半島地震災害派遣報告、災害派遣を通して見えてきた日ごろの見守りの重要性について。

（2）孤立世帯等への専門的対応

社会や地域との接点を失い、孤立している方等に対し相談支援を行った。

- ・相談・支援者実人員 457人（男：215人 女：241人 不明：1人）

【 実人員内訳 】＜属性別内訳＞

種別	人数	種別	人数
要介護・要支援の高齢者	2 9 7	難病	2
要介護・要支援以外の高齢者	8 7	生活困窮者	0
身体障がい者・児	4 5	子育て中の保護者	0
知的障がい者・児	1 5	その他	9
精神障がい者・児	2 4		
発達障がい者・児	1		

・相談支援件数 1, 8 4 5 件

(訪問: 3 2 2 件、電話: 1, 0 2 9 件、来所: 1 8 6 件、手紙・メール・

F A X : 6 0 件、その他: 2 4 8 件)

【 内容別 】

種別	件数	種別	件数
経済・生活問題	1 3 0	生きがいづくり	2 0
福祉サービス	5 5	虐 待	0
保健・医療サービス	1 1	家族・家庭問題	2 6
介 護	2 2	見守り訪問	1 6 5 5
子育て	0	ごみ屋敷	1 2
就 労	1	その他	7 2

(3) 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

認知症で徘徊のリスクがある方に事前登録をしていただき、行方不明時に区内の関係機関や鉄道などの協力者)に搜索依頼メールなどで配信し、早期発見につなげる。

・ 事前登録者： 9 5 人 ・ 協力者： 1 2 1 人



※協力者とは

認知症高齢者が行方不明になった場合に、行方不明になった方の情報をメールやFAXで受取り、仕事などで外出した際に行方不明になった方がいないか気にかけていただける方。

◆「認知症高齢者搜索模擬訓練」の開催

目 的 道に迷っている認知症高齢者を発見した際の寄り添った声かけ方について模擬訓練を通して考える

開催地域 大国地域、日東地域、日本橋地域

開 催 日 大 国地域：令和6年8月28日（水）

日 東地域：令和6年11月27日（水）

令和6年12月25日（水）

令和7年1月29日（水）

日本橋地域：令和6年11月19日（火）

令和6年11月25日（月）

令和6年12月23日（月）

令和7年2月25日（火）

令和7年3月24日（月）

内 容 認知症についての講義

道に迷っている高齢者へ寄りそう声かけ支援体験

参 加 者 大国地域、日東地域：民生委員児童委員

日本橋地域：連合振興町会長、地域活動協議会



6 地域福祉コーディネート事業

浪速区役所からの委託事業。高齢者や障がい者、子育て世帯等の孤立などの地域福祉課題の解決に向けて、地域とのつながりづくりや見守り体制の構築を進めるため、浪速区内10地域に地域福祉サポーターを配置し、以下の事業を実施した。

(1) 実施場所

浪速区内10地域

地 域	難波・元町	立葉・幸町	塩 草	浪 速	大 国
拠 点	元町 老人憩の家	立葉 老人憩の家	塩草 老人憩の家	浪速南公園 集会所	大国集会所

地 域	敷 津	恵 美	新世界	日 東	日本橋
拠 点	敷津 連合会館	恵美会館	新世界 老人憩の家	日東 老人憩の家	日本橋 連合会館

(2) 業務内容

- ① 地域の見守り活動体制をつくるための支援とともに要援護者名簿の登録者と見守り体制とのつなぎ
- ② 地域住民からの相談に応じ、必要に応じて関係機関へのつなぎ
- ③ ふれあい型食事サービス・ふれあい喫茶・子育てサロン等、地域の活動を支援・活用することによって居場所づくりやつながりづくりの促進
- ④ 地域福祉にかかる課題の把握、その他地域福祉を推進する取組みに対して支援
- ⑤ 情報及び意見交換、事務連絡、各地域の状況報告を目的とする「地域福祉サポーター連絡会」への参加
- ⑥ 地域関係会議への参加や地域団体・専門職等関係機関との双方向の情報収集や情報交換
- ⑦ 活動に有効な研修会への参加
- ⑧ 警察や消防などからの特殊詐欺等の情報を地域住民に注意喚起

(3) 相談・サポート・見守り等の実績

相談・サポート	ふれあい型見守り	連絡調整	情報収集
1, 225件	25, 683人	430件	793件

※その他、町会長会議をはじめ、各種会議に601回（1地域年間回程度）出席し、

- ・情報収集や地域の課題等の確認を行った。
- ・気になる方への電話や訪問は2,014件行った。
- ・ケアマネジャーとも連携した見守り訪問を80件行った。
- ・地域活動の予定表を作成し利用者に配布した。
- ・業務の内容をポスターやチラシにて広く周知。

◎業務事例集

【事例1】

4／4 <膝の手術のため入院されていた方が退院されたため、
安否確認の電話を入れたが応答無し>

膝の手術のため入院していたKさんが退院してから1週間たったため、安否確認の電話を入れたが応答がなかった。→心配になったので、手紙をポストイングした。

4／5 再度訪問したところ、お元気でとても喜んでいた。(恵美)

【事例2】

5／6 <滋賀在住の中学の同級生（独居）から頸椎の術後2か月間首を
動かせずに困っているとの対応！>

4月8日に頸椎の手術をした、滋賀在住の中学の同級生（独居）から、2か月間、首を動かすことができない状況で、生活状況は畳に布団を敷いているが、独居のため自分でできずに困っていることがたくさんあると近況報告があった。

→本会見守り強化担当職員に相談したところ、包括職員につないでくださり、近江八幡西部の包括につなぎ、介護認定も出て、ベッドの手配もできた。同級生からお礼の連絡があった。私たちの仕事に関係機関につなぐ大切さを痛感した。(大国)

【事例3】

5／6 <緊急システム協力者になっているKさんから午前6時30分に
下血したと連絡が入った！>

緊急システム協力者になっているKさんから、午前6時30分ごろに携帯に電話が入り、「トイレで出血したので来てほしい。」とのこと。すぐに訪問し、症状を主治医に報告したところ、救急車を呼ぶように指示されたため、救急車を要請した。救急車に同乗し多根病院に入院。→娘に報告。(浪速)

【事例4】

6／11 <民生委員から行方不明の方がどうなったか調べてほしいと 連絡を受け、対応！>

民生委員から「担当地域の方が居られなくなったのだが、その後、どうなったのかを知りたい」と問い合わせがあった。

→本会に連絡し、ケアマネに問い合わせし、西成警察に保護され、家族が迎えに行ったと
のことで、民生委員に報告したところ安心された。(元町)

【事例5】

6／13 <高齢者女性が「自分の帰る場所がわからない」と会館に来所>

見かけない方が、「自分の帰る場所がわからない」と言って会館に来所。

暑い中を迷っていたようで、少し、休養されてから、名前・住所・生年月日を確認することができたので、包括からケアマネに報告し、迎えに来てもらった。(日本橋)

【事例6】

7／2 <「家がわからない」と迷っておられた方の情報に対する対応！>

NさんがKさんを連れて来所され、「昨日、ゴミ置き場でウロウロされていたので、声をかけると、家がわからない」と言われた。Nさんは、Kさんの自宅を知っていたため自宅の部屋まで送り届けたが、「これ、私の部屋？」と聞かれた。以前から心配していたが、廊下を裸足で歩いているところを地域の人が見ている。お昼は仕事をしている姪が、夕方に見に来られているとのこと。しかし、最近は、あまり来られていない様で、近所の方との接触も避けられているようである。ドアホンをならしても出てこられないためランチや包括につないだ。(立葉)

【事例7】

8／7 <Sさんより電話が入りトイレの水があふれていて困っているとの 連絡に対応！>

午前11時ごろに、Sさんより電話が入り、「トイレの水があふれて困っているがどうしたら良いのかわからない」とのこと。

→包括に連絡し、業社を紹介してもらい、本人に伝えたところ安心された。(浪速)

【事例 8】

8 / 29 <U さんから「すぐに来てほしい」との電話が入ったため、
すぐに訪問！>

午後 8 時ごろに、普段から見守りをしている U さんから電話が入り「すぐに来てほしい」とのことだったため、訪問すると、胸が苦しいとことで血圧が 150 / 84・脈拍 104 であった。薬は、電話をする前に飲まれたとのこと。10 分ほどして、再度血圧を測定したところ 142 / 80 脈拍 100 と少しずつ落ち着いてきたため、1 時間くらい世間話をし、「何かあれば、また連絡ください。来週の火曜日の通院まで様子をみましょう」という事で U さん宅を出た。その後、連絡はなかった。今後、緊急通報システムの登録を勧めて行く。(浪速)

【事例 9】

9 / 16 <午後 1 時半ごろ、日本橋住宅 2 号館の前で座り込んでいた女性
(A さん) の救急車を要請！>

9 月に入っても、お昼は、まだまだ暑い毎日が続いている中、午後 1 時 30 分頃に日本橋住宅 2 号棟の前で座り込んでいる女性から、「救急車を呼んでほしい」と頼まれたため、救急車の要請をし、救急隊に状況を伝え、本人を乗せた後、帰宅した。→日東地域の方だったので、日東地域のサポーターに報告した。(恵美)

【事例 10】

10 / 11 <妻が認知症で夫に暴言や暴力をふるうが、デイに行ってる間が
寂しいと弁当持参で夫が来所>

I さん（夫）が来所され、「妻が認知症で私に暴言や手をあげる。生野のデイサービスに行っている間が寂しいので、ここでお弁当を食べていいか？」と訪問された。

→「お弁当を食べることはできないが、話を聞くことはできます」と伝え、30 分程度、昔の話をして帰られた。見守り相談室に確認したところ、要援護者名簿の登録は、妻から不同意で返信されているとのこと。今後、登録につなげていきたい。(浪速)

【事例 11】

10 / 21 <女性部長から隣人の方が、ベランダで転倒して動けないと
電話が入り駆けつけた>

女性部長から、隣人がベランダで転倒しているが、起こすことができないと電話が入ったため、すぐに駆けつけた所、洗濯物を取り込んでいた時に植木に足を引っかけて転倒

されたとのこと。意識はしっかりされていたが、転倒時に、身体全体を打たれたようで全身が痛いと言えなかった。うつ伏せ状態だったのを仰向けになっていただき、まずは座ってもらって、何とかベッドまで移動ができた。しかし服も汚れていたの
で、着替えていただき、湿布などを貼り、トイレに誘導した。救急車の要請を本人が拒否したため、ケアマネへ連絡し「何かあれば、連絡ください」と伝えた。（もともと、
脊椎管狭窄症の持病あり）（浪速）

【事例 1 2】

10/30 <認知症の奥様を、どのタイミングで施設に入れたらいいのかわからないのかの
相談に対応！>

以前から、認知症の妻を夫が介護しているが、とても大変な様子。夫から「認知症も
進行してきたが、どのタイミングで、施設に入れたらいいのかわからない」と相談があ
った。

→包括につなぎ、本人たちと話をし、まずは、ショートステイから試してみることに
なり、夫の負担も軽減するのではないかと少し安心した。（敷津）

【事例 1 3】

12/12 <難聴の N さんが頭痛で病院に行ったが医師の言葉が聞き取れずに
困ったとのこと>

N さんが来所され、10 日くらい前から後頭部が痛み通院した時「難聴のため、医師
の言われることが聞こえにくくて不自由した」と言われた。

→「次回からは、ご一緒にします」と伝えたところ、大変喜ばれ安心された。（大国）

【事例 1 4】

1/8 <70 代後半の女性が道に迷って会館に来られた。話を聞き入所
施設まで送り届けた>

食事会が終わるころ 70 歳後半とみられる女性が、「道に迷った」会館に来られた。

→「いつも一人で散歩している。ここには昔に来たことがある。」とのこと。詳しくお話を
聞くと、施設に住んでおり、施設名が確認できたので、送り届けた。施設の職員は、「ほぼ
毎日、ひとりで外出して帰ってきているが、今日は、普段と違う所を通って迷われたので
はないかと思う」とのことであった。（塩草）

【事例 15】

1/16 <娘さんから虐待を受けている方を地域活動などにつないだ>

本会職員より、初期の認知症状の K さんが、娘から虐待を受けていると聞いていた。以前は百歳体操にいられていたが、転倒して骨折したため、最近、来なくなっていた。本会職員と連携し、「元気はつらつ」への利用につなげた。今後も、スタッフの理解の元、可能な限りいろいろな活動につなげていきたい。(立葉)

【事例 16】

1/29 <77 歳女性入所のマンション取り壊しに伴い、保証人がいなくても入所ができるマンション探し>

77 歳の女性から相談があり、2 月末までに今住んでいるマンションを引きあげなくては行けないが、身内がいないため、新規の住居をさがすにも保証人になる人がいなくて困っている。(希望は家賃 6 万円程度のところで現マンションの近く)

→保証人が無くても高齢者が住める住居をさがす手段がないか本会に相談し、資料や引っ越しに係る便利屋を紹介してもらい、本人に連絡した。その後、数件の物件を一緒に見学し、無事に見つかった。(恵美)

【事例 17】

3/13 <マイナンバーカードの保険証の紐づけができないと

相談があった方をランチにつなげた>

新世界老人憩の家前に 80 歳代の女性が居られたため、声をかけた所、「マイナンバー保険証の紐づけを区役所に行って相談したら、薬局でしてもらってと言われたのでここで聞こうと思って、相談に来たけど留守みたいで」と困っておられたため、「サポーターとケアマネに伝えておきます」と伝えると安心して帰られた。

後日、ランチ職員につなげた。本人には「必ず、紐づけしないといけないことはない」と伝えた。(恵美)

7 生活福祉資金貸付事務事業

(1) 生活福祉資金貸付制度

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度で、大阪府社会福祉協議会が実

施主体となり、本会が貸付けのための事務窓口を行っている。

○ 生活福祉資金貸付状況

資金の種類		相談	内： 申込	承認	不承認	審査中	相談 のみ
福 祉 資 金	生業費	1	0	0	0	0	1
	技能習得費	1	0	0	0	0	1
	住宅増改築費	0	0	0	0	0	0
	福祉用具購入費	0	0	0	0	0	0
	障がい者用自動車費	0	0	0	0	0	0
	国民年金追納経費	0	0	0	0	0	0
	療養費	5	0	0	0	0	5
	介護サービス費	0	0	0	0	0	0
	災害臨時経費	0	0	0	0	0	0
	冠婚葬祭経費	1	0	0	0	0	1
	転宅費・給排水設備経費	1 6	0	0	0	0	1 6
	就職支度金	0	0	0	0	0	0
	日常生活上必要経費	3 8	1 9	1 7	2	0	1 9
教育支援資金		1 2	1	1	0	0	1 1
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	0	0
臨時つなぎ資金		0	0	0	0	0	0
総合支援資金		2 2	0	0	0	0	2 2
緊急小口資金		1 1 3	3 0	2 5	5	0	8 3
対象制度なし		1 1 5	0	0	0	0	1 1 5
合計		3 2 4	5 0	4 3	7	0	2 7 4

(2) 生活福祉資金フォローアップ（緊急小口・総合支援資金）支援

令和5年1月からコロナ特例貸付の償還が始まり、仮受入・世帯の生活再建を図るため、フォローアップ支援を実施している。

支援としては、償還免除や償還猶予となった世帯、償還が困難で滞納している世帯、未応答の世帯等、個々の状況に配慮した支援が求められている。

令和５年８月末時点で浪速区在住の方及び浪速区で貸付を受けて、現在大阪府外在住の方を対象に「生活状況の確認について」の送付を順次送付し、必要な支援実施する一環として「収支状況」の聞取りを行っている。

【相談・貸付状況】緊急小口資金・総合支援資金（初回・延長・再貸付）

資金の種類	電話 相談	来所 相談	相談件数 合計	償還猶予 申請	免除 申請
緊急小口・ 総合支援資金	５７４	２６７	８４１	９５	２６
合計	５７４	２６７	８４１	９５	２６

Ⅲ あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的として、契約意思の確認が可能な方を対象に福祉サービス等の利用援助や日常的な金銭管理サービス等の生活支援を行った。

○ 状況別対応内容

	訪 問	電話・来所	利用総数
認知症等	１，５３１	１，００８	２，５３９
知的障がい	７００	６８３	１，３８３
精神障がい	４３７	７７７	１，２１４
そ の 他	３	７	１０
合 計	２，６７１	２，４７５	５，１４６

(単位：件)

○ 状況別利用実人数

認知症等・・・６４人、知的障がい・・・１７人
精神障がい・・・２２人 合 計 １０３人

IV 介護予防事業

介護予防事業は、年齢を重ねても自分らしく、できる限り自立した生活が送れるよう、高齢者が介護予防に資する活動に参加し、地域の人と交流の機会を持つことで生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図る事業である。

介護予防に資する活動として大阪市の事業「なにわ元気塾」を実施した。通いやすい地域の会館等で定期的（月 1 回）に実施するもので、高齢者の心身の活性化を図るために、専門の講師による介護予防に資する情報の提供や実習の実施、参加者の交流を図るためのレクリエーションなどを実施している。各教室の開催前に、登録者に連絡を入れ参加の促しと体調等の確認を行っており、懸念されることがあれば関係機関（地域・地域包括支援センター・見守りなど）に報告している。また、登録者からの相談も受けて地域、関係機関につないでいる。参加者はもちろん、地域にとっても定期的な通いの場の資源の 1 つとして定着している。

＊なにわ元気塾（浪速区の教室の名称「元気はつらつ教室」）

登録人数 146 人 開催教室数 11 か所 参加総数 1,147 人

開催期間 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月まで



口腔ケアの講義



ダンスの講義

V 地域包括支援センターの運営

高齢者が尊厳あるその人らしい生活を地域で継続することができるよう、できる限り要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態となっても、可能な限り地域において自立した生活を営むことができるよう、地域包括ケアの進化・推進に向けて関係機関と連携した取り組みを行った。

1 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

○相談件数

本人、家族、近隣住民、関係機関等からの相談を受け、適切な機関・制度・サービスにつなぐ等、解決に向けて専門的な支援を行った。相談延べ件数は前年度に比較し減少したが、相談実人数は年々増加している。

年度別相談件数	延べ件数	訪問	電話	来所	その他
令和6年度	9,684 件	1,662 件	6,755 件	1,040 件	227 件
令和5年度	10,346 件	1,606 件	7,271 件	1,166 件	303 件

年度別相談件数	相談実人員	うち認知症疑い有り
令和6年度	1,330 人	287 人
令和5年度	1,311 人	303 人

○地域ケア会議の開催

個別ケース検討：10 回/年 開催

振り返り事例検証：1 回/年（8/22 37 人）

見えてきた課題のまとめ：

2 回/年（1/14 6 人、1/23 32 人）

自立支援型ケアマネジメント検討会議：

7 回/年、うち小会議 1 回



第 1 回 定期地域ケア会議

- ・ 阿倍野住宅管理センターとの情報交換や、定期地域ケア会議において市営住宅の抱える課題と取り組み、孤立死の現状や安否確認について、関係機関と意見交換した。

- ・住宅管理人、町会、民生委員などとの日々顔の見える関係づくりを行い、地域の方の日頃の気づきを情報収集した。(計 128 回/年)
- ・包括・ランチニュースを年 3 回発行し周知した。
- ・セブンイレブン等へ見守り活動の周知・協力依頼時には、お店の従業員向け「～お店の方へ～認知症対応のポイント」のリーフレットを活用した。
- ・浪速区生活支援担当新任者研修「高齢者支援について」を区高齢福祉課、ランチとともに実施した。(6 月 6 日 25 人)



(2) 権利擁護業務

- 高齢者虐待の通報受理件数: 40 件
- 成年後見制度相談実人数: 26 人
- ・あんしんさぽーと、成年後見制度の説明用のチラシを作成し、包括・ランチで協働して、地域住民に配布した。
- ・契約時および地域行事で ACP の周知を実施した。
(129 人/8 か所)
- 区役所と協働し、障がい者・高齢者虐待防止講演会を開催した。(1 月 31 日 66 人)
テーマ「障がい者・高齢者虐待における予防」



虐待防止講演会

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者が地域で暮らし続けることができるよう、関係機関との連携・協働の体制づくりや介護支援専門員への支援を行った。

- 介護支援専門員からの相談延べ件数: 1,761 件/年
- 介護支援専門員の情報交換、研修会の開催
連絡会・幹事会等の開催支援: 12 回
介護支援専門員への研修会: 5 回

- ・「医師とケアマネジャー連絡会」を開催し、災害時の医療と介護の連携について話し合った。

(12/7 43 人)



医師とケアマネジャー連絡会

- ・居宅介護支援事業者連絡会で、区役所（市民協働）からの災害対策についての話も含めながら BCP について検討した。
- ・障がい者基幹相談支援センターと課題を共有し、居宅介護支援事業者連絡会で障がい者基幹相談支援センター、相談支援専門員とケアマネジャーが一堂に会し、研修・交流会を実施した。



障がい者支援との研修・交流会

(3/21 68 人)

(4) 第1号介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）

要支援1・2認定者に対し、能力を最大限に生かしつつ利用者の状態やニーズに応じたサービス提供ができるように多様なサービスを活用し、安心して在宅生活が継続できるように支援した。

○新規利用者の契約：277 件

- ・契約時には一部委託先の居宅介護支援事業者と同行し自立支援の考え方を説明した。
- ・地域の食事会や喫茶、百歳体操等の社会資源についての「問い合わせ先一覧表」を作成して配付、利用促進した。

(5) その他の事業間連携（地域包括ケアシステム）

① 在宅医療・介護連携推進事業との連携

- ・在宅連携協議会に年4回参加。Aケアカードを活用した医療と介護の連携について検討した。
- ・多職種連携研修会「BCP（事業計画）とは？～平時から準備・検討しておくべきその理由～」の開催協力と参加。(9月7日 82人)
- ・浪速区三師会が主催で健康展が開催され、在宅医療・介護連携支援コーディネーターや、その他の関係機関とも企画・運営を通じて、ネットワーク構築、関係づくりができた。

② 生活支援体制整備事業との連携

- ・「わになろなにわ健康塾」を、URアーベインなんば集会所において、URコミュニティ、生活支援コーディネーター、区社協、オレンジチームと協働した。

- ・地域資源をまとめた「高齢者の便利帳」の作成に協力し、ケアマネジャー等に情報提供した。

③認知症総合支援事業との連携（オレンジチーム）

- ・オレンジチームと包括・ブランチで「もの忘れ出張相談会」を開催した。
(2月28日 27人)
- ・大国地区民生委員児童委員協議会の「認知症高齢者搜索模擬訓練」にて講師など協力した。(8月28日 42人)
- ・日本橋地区（全6回）と日東地区（全2回）においても、「認知症高齢者搜索模擬訓練」にて（ミニ講座）、講師など協力した。
- ・認知症講演会実行委員会として「認知症講演会&在宅医療介護講演会 つなごうご近所さん part 10」を開催した。(3月11日 143人)
- ・認知症サポーター養成講座の開催協力をした。
- ・意思決定支援についての専門職向け研修「意思決定支援の基本的な考え方～失敗する権利も大切にしながら～」をテーマに共催した。(11月12日 46人)
- ・なでしこ家族会と認知症当事者会「歩みの会」に協力し、認知症当事者の居場所づくりと家族介護者が安心してリフレッシュできる環境づくりを行った。

2 家族介護支援事業

在宅で介護している家族を対象に、在宅介護に関する情報交換を行う機会の提供や、家族介護者の介護負担の軽減及び心身のリフレッシュ、家族介護者及び地域住民の交流を図った。

○なにわ家族介護教室「日頃の介護の悩みを吹き飛ばそう」

～チンチン電車の車窓から浪速の街を眺め介護談議に花を咲かそう～

内 容：浪速区発着（恵美須町駅～浜寺駅）の阪堺電車を貸し切り、家族介護者のリフレッシュ・交流の場を提供。当日は、当事者の方も参加され、日ごろの介護の悩みを共有し、レクリエーションを楽しまれた。なでしこ家族会や「おれんじはあとの会」の傾聴ボランティアにも加わっていただき、当事者と一緒に参加していただける体制とした。

日 時：令和6年10月29日（火） 午後1時30分～午後3時30分

場 所：阪堺電車（恵美須町駅～浜寺駅 往復）

参加者：19名（家族介護者10人、当事者5人、介護経験者3人、介護に関心のある方1人）、ボランティア4人



なにわ家族介護教室

3 指定介護予防支援（第1号介護予防支援事業含む）

要介護認定を受け、要支援1・2と判定された利用者等に対し、介護予防・生活支援サービス計画書（ケアプラン）を作成し、利用者・家族の同意を得た後、適切にサービスが提供されるよう連絡調整を行った。

- 令和6年度新規契約数・・・277件
- 令和7年3月末現在の介護予防支援（第1号介護予防支援事業含む）
 - ・ 居宅介護支援事業所への一部委託：599件/月（令和7年3月末現在）
 - ・ 自包括作成：1件/月（令和7年3月末現在）

VI 認知症初期集中支援推進事業（浪速区オレンジチーム）

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り地域で暮らし続けられるために、認知症診療の経験豊富な医師と医療・介護福祉の専門職で構成する認知症初期集中支援チームがご本人やご家族、地域関係者、介護関係職員などからの相談を受け、訪問などの支援を行った。

適切な医療や介護サービス等に結びついていない認知症の疑いのある方、その家族を訪問し、状況の把握や受診勧奨、家族サポート等、ひとりひとりの状況に合わせて支援の方向性を検討し、ご本人やご家族の自立した生活のサポートを集中的に行った。

1 認知症初期集中支援対象者

○相談件数

令和6年度 訪問支援対象者	うち新規訪問支援対象者
37人	32人

○支援終了ケースの終了時の生活場所

支援終了総数	在宅	入居 (在宅系)	入所 (施設)	入院	転居	死亡	在宅率
31人	23人	5人	0人	1人	1人	1人	90.3%

○医療・介護への繋がり

医療にも介護にも 繋がっていない数	医療または介護に 繋がった数	医療・介護に繋がった割合
1人	30人	96.7%

2 会議開催状況

○チーム員会議 12回/年

(チーム員とチーム員医師が支援方針等の検討を行う会議)

○関係者会議 1回/年

(区内の関係者が参加し、初期集中支援事業の実績を共有すると共に課題や連携・広報普及啓発について検討を行う会議)

○認知症施策推進会議 1回/年

(区役所の主催により、地域課題等の共有・意見交換・取り組みの方向性検討を行う会議)

3 周知活動にかかる取り組み

・啓発物品のティッシュとオレンジチームのチラシを刷新し、周知活動を行った。

周知件数：全164件

(地域住民、三師会、サービス事業所、集合住宅・
管理会社、金融機関、スーパー・コンビニ、パー
トナー企業、教育機関、インターネット利用者など)

・区役所の生活支援課の新任者研修でオレンジチームの説明を行った。

4 認知症地域支援推進員にかかる取り組み

(1) 若年性認知症等の支援困難症例への対応

- ・支援ケース（継続支援）：8人

【内訳】若年性認知症支援ケース：1人（終了2人）

支援困難症例ケース：3人（終了2人）

(2) 地域の認知症対応力向上にかかる業務

○認知症カフェ運営・開催の側面的支援

認知症アプリ、本会ホームページを活用し、カフェ開催日時、中止連絡等をアプリにアップして開催状況を多くの人に周知した。運営中のカフェ4か所において、チラシの配布や周知をおこない、カフェ開催時には、訪問し専門的な相談支援を行った。

<認知症カフェ連絡会>

各認知症カフェの情報共有や運営上の悩みや工夫等、意見交換の機会になった。

日 時：11月8日（金） 午後4時～5時

場 所：そんぽの家なんば 8階

参加者：浪速区内各認知症カフェ代表者 13人

内 容：各認知症カフェの情報交換等



○認知症啓発活動

- ・地域見守り会議、高齢者声掛け訓練、家族介護教室に協力・参加した。

<大国地区民児協 認知症高齢者搜索模擬訓練>

日 時：8月28日（水） 午後5時～6時15分

場 所：大国小学校

参加者：42人

内 容：民生委員・児童委員の方が、認知症役に扮した職員等に声掛けのロールプレイを実施した。

<日東地域 認知症高齢者搜索模擬訓練>

全3回開催（うち2回担当）

場 所：日東老人憩いの家または日東雲井橋会館

参加者：11人～21人（職員も含む）

<日本橋地域 認知症高齢者搜索模擬訓練>

全6回開催（うち2回担当）

場 所：日本橋連合会館

参加者：17人～23人（職員も含む）

<わになろなにわ健康塾>

日 時：9月25日（水）、10月23日（水）、11月27日（水）、12月25日（水）

午後1時30分～3時30分

場 所：URアーベインなんば集会所

参加者：8～13人、ボランティア：4人

・アルツハイマーデー（認知症の日）啓発活動

<第4回 なにわオレンジ川柳大会>

昨年度は187句の応募があったが、今年度はインターネットからの応募もあり、10～90歳代の多世代から366句の川柳が集まった。区役所・老人福祉センター・区民センター・スポーツセンターにて作品の掲示を行い、多くの区民に周知を行った。

また、受賞者へは「ふくしふれあい広場」にて授賞式をおこない、作品の掲示も行った。



<若年層に向けて認知症の周知・啓発>

日 時：7月22日（月） 小学生向け

8月1日（木） 親世代向け

場 所：子ども・子育てプラザ

<図書館展示～認知症を知り、ともに暮らそう展～>

日 時：8月16日（金）～10月16日（水）

場 所：浪速図書館



○認知症ケアに携わる多職種協働のための研修会

専門職向け認知症研修会を包括と連携して「意思決定支援の基本的な考え方をテーマに医療や介護・保健等の関係機関の専門職を対象に開催し、認知症対応力の向上を図った。

<専門職向け認知症研修>

日 時：11月12日（火） 午後2時～4時

場 所：浪速区社会福祉協議会 2階

参加者：46人

内 容：「意思決定支援の基本的な考え方～失敗する権利も大切にしながら～」

講 師：一般社団法人 権利擁護支援プロジェクトともす 川端 伸子先生



○認知症講演会

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのために、浪速区医師会主催の認知症講演会実行委員会に出席し、関係機関との協働で、地域の方に認知症への関心を持っていただき理解を深めることと、地域における認知症対応力向上を目的に開催した。

・令和6年度 認知症講演会&在宅医療講演会

つながろうご近所さん PART 10～地域で寄りそうまちへ～

内 容：第1部「絵本から学ぶ認知症～いっしょにあるく～」

講師：うえの みえこ氏

第2部「記憶の仕組みと認知症」講師：竹中 裕昭医師

笑いの健康体操「笑いヨガ」講師：栢 和子氏

日 時：令和7年3月11日（火） 午後2時～3時45分

場 所：浪速区民センター ホール

参加者：143人



地域住民、民生委員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、区役所、キャラバンメイト連絡会、地域福祉サポーター、区社協、ブランチ、地域包括支援センター、オレンジチーム

VII オレンジサポーター地域活動促進事業

地域において認知症の人やその家族の身近な困りごととオレンジサポーターをつなげる仕組みである「ちーむオレンジサポーター」を構築して、認知症の人やその家族に対する支援の充実と認知症サポーターの活躍の場(ちーむオレンジ)の立ち上げをした。

また、認知症の人が地域で安心して暮らし続けることができるように、認知症の人の支援に関する社会貢献活動を行う企業・団体等を「オレンジパートナー企業」として登録し、認知症の人が安心して生活できるまちづくりに取り組んだ。

1 登録数

オレンジパートナー企業登録数	39件
ちーむオレンジ登録数	11件

2 周知活動にかかる取り組み

広報・周知をオレンジチームと連携し、地域住民・スーパー・金融機関(銀行・信用金庫)・高齢者施設等へパートナー企業のチラシの配架依頼や個別訪問を行い、オレンジパートナー企業の登録勧奨を行った。

キャラバンメイト連絡会と連携して認知症サポーター養成講座開催時に周知した。

3 ステップアップ研修

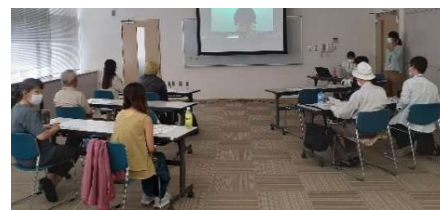
認知症サポーター養成講座の際に、ステップアップ研修の案内を行い、浪速区のオレンジサポーターの養成を行った。認知症地域支援コーディネーターとして、ステップアップ研修の周知と当日の会場設営、講座の進行を行った。

・第1回ステップアップ研修

日時：6月18日(火) 午後1時～5時
場所：浪速区社会福祉協議会
参加者：8人

・第2回ステップアップ研修

日時：10月17日(木) 午後1時～5時
場所：浪速区社会福祉協議会
参加者：9人



・第3回ステップアップ研修

日 時：令和7年2月12日(水) 午後1時～5時

場 所：浪速区社会福祉協議会

参加者：2人



4 ちーむオレンジ立ち上げ・後方支援

- ・6チームのちーむオレンジを立ちあげることができた。

園芸作業 「いろどりファームろうせん」

庭の美化活動 「種花クラブ」

花壇の手入れ 「園芸ボランティア」

筋力体操 「いきいき百歳体操」

ラジオ体操 「ラジオ体操」

カフェとクラフト作成 「なにわクラフトカフェ」



- ・4チームのちーむオレンジの後方支援活動を行った。

当事者会 「歩みの会」 (なでしこ家族会と同日開催)

世代間交流 喫茶サロン 「赤とんぼ」

ゴミ出し声掛け活動 「すずめの教室」

送迎ボランティア 「ちーむ楽生クラブ」



5 パートナー企業の活用

オレンジパートナー企業に協力していただき、認知症をありのままに受け入れられる地域づくりのために、多世代に向けて普及・啓発の目的で行った。

- ・「物忘れ出張相談会」

日 時：令和7年2月28日(金) 午前10時～12時

場 所：セガミ薬局日本橋店

参加者：22人



VIII 老人福祉センター管理運営事業

平成18年度に指定管理者制度が導入されて以来、区社協が指定管理者に選定されてきた。令和6年度は5回目の指定管理期間（令和6年度～10年度）の初年度として、高齢者の「生きがいつくり、仲間づくり」、「健康づくり」、「世代間交流」を目指した事業運営とともに、老人クラブとの連携、サークル活動等、高齢者の自主的な活動への支援を行った。

1. 令和6年度利用状況

（1）利用登録者数

男57人 女151人 計208人

（2）個人利用者数

令和 6年度	年齢別				計
	60～69歳	70～79歳	80歳～	その他	
男	854人	3,416人	3,138人	835人	8,243人
女	1,665人	6,728人	10,599人	381人	19,373人
計	2,519人	10,144人	13,737人	1,216人	27,616人

（3）団体利用者数

利用回数53回 男性101人 女性225人 計326人

2. 事業内容

（1）生きがいつくり、仲間づくり活動

①生きがいつくり講習会、生きがい探究講座等の開催

関係機関の協力を得て“認知症カフェ”の位置づけでもある、“クラフト＝手作り工作”を行う「なにわクラフトカフェ」を継続した。クラフトを通じて「自尊感情」

「自己達成感」を感じることができるよう、あたたかな取り組みとなるよう心がけ、年間11回、155人の参加があった。

“おたのしみ会”として、「脳トレ」（12回 213回）を実施した。

仲間づくり、新たに来館しやすい事業として、「夏フェス」にて「小さな演奏会」（26人）を実施した。バイオリン、ヴィオラ、チェロ、クラリネットの生演奏を楽しんでいただいた。クリスマスを前にデスクベル、ウクレレ演奏も交えた利用者も歌う「みんなでつくる音楽会」（27人）を開催した。



令和6年度『なにわクラフトカフェ』年間開催結果						
月	日	男性	女性	計	内容	備考
4	11	0	9	9	フェルトでバラの制作	
5	9	0	17	17	ガラスの風鈴に絵付け	
6	13	0	2	2	同月に染色体験の事業を実施したため、クラフトは休止。 (間違えて来館された方へ簡単なものづくりを急遽、提供)	
7	11	0	15	15	カードケースに模様をつける	
8	8	2	10	12	はがき絵	福祉ふれあい広場等への展示作品
9	12	3	13	16	紐でタッセル作り	
10	10	1	22	23	モールワイヤーで花作り	
11	14	0	14	14	ティッシュカバー作り	利用者1人が準備、当日のお手伝い
12	12	0	10	10	厄除けのお守り作り	
1	9	0	11	11	美人画を葉書に描く	
2	13	0	11	11	ちぎり絵 色紙に和紙のお雛様を描く	
3	6	1	14	15	タッセルのキーホルダー作り	
合計		7	148	155		

③ サークル活動支援

詩吟、カラオケ、民謡、書道、実用習字、健康体操、卓球、民踊など17のサークルの自主運営活動(2, 282人)を支援した。

各サークルの発表の場となる「文化祭」については、トイレの改修工事期間と重なったことから、「サークル世話役会」を通じて利用者の意見を集約し、休止とした。書道、実用習字サークルの作品については、クラフトカフェでの作品(はがき絵)とともに「ふれあい広場(11/2)」、浪速図書館(11/22～12/18)に展示した。

(2) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

いきいき百歳体操(週2回×2クラス、計2, 073人:おたのしみ会の日1クラス)、ラジオ体操(毎週月～土曜日、計3, 349人)を実施した。

健康運動指導士による「いすにすわってボクササイズ」(3回、64人)、理学療法士による「いつでもどこでも長生き体操」(1回、27人)に加え、健康づくり講座として「整体体操」(月2回、168人)、「すこやかマッサージ&ダンス」(月2回、438人)、「背骨コンディショニング体操(月2回、計305人)」、「いすヨガ」(月2回、360人)、



「歌の会」(年6回、118人)、「健康ダンス教室」(1回、16人)を実施した。

初めての事業として「e スポーツ体験講座」(2回、30人)を開催した。初めてのゲーム機(ボウリング)に戸惑う姿もあったものの、すぐに慣れて声援いっぱい事業となった。

アウトリーチ事業として、「背骨コンディショニング体操」(本会と共催、1回、17人)、口腔機能の維持、向上に向けた「声に出して本をよもう」(浪速図書館と共催、年4回、30人)、「ニューススポーツ大会」(老人クラブ連合会との共催、2回、99人)を開催した。

また、健康管理活動として、「結核のお話と健診」(1回、7人)、食育セミナー(1回、21人)、保健福祉センターによる健康講座(4回、56人)、浪速区健康づくり協議会(あすなろ会)の協力を得て「身体測定」を実施した(2回、39人)。

(3) 世代間交流事業

「いろどりファームろうせん」にて栽培したさつま芋の収穫を子ども・子育てプラザと実施した。また、合同の消防避難訓練において、センター利用者、子ども・子育てプラザの親子の三世代による消火器訓練を実施した。

看護学校からの実習生(11日間、14人)の他、敬老の日のお祝いに、愛染橋保育園の園児から歌と手作りカレンダーを頂く機会を得た。



(4) 地域との連携・人材育成

センターでの「緑化推進支援事業(種花事業)」(主催・浪速区役所)が休止となったことから、同ボランティアの活動場所として「種花クラブ」を立ち上げ、中庭での緑化活動を提供した。ボランティア活動として園芸、図書、事業運営のサポート、センターだより作成等の協力を得た(年間112人)。ボランティアによる「おもちゃ病院」(月1回)への活動拠点の提供、サポートを行った。

浪速警察署、浪速消防署、大阪新世界郵便局から、特殊詐欺等の防犯、交通安全、消防、防災等の啓発(21回、412人)を得た。安全啓発活動として、浪速警察署他の協力を得て「秋の交通安全指導」(25人)を実施した。これまでのセンターでの交通安全に対する取組みに対して、浪速警察署から「交通安全功労者表彰」をいただいた。



3. 老人クラブ活動の支援と連携

- ① 会員加入促進のため、老人福祉センター利用者に対してクラブの活動を周知。
- ② 浪速区老人クラブ連合会「会長会」の定例実施(老人福祉センター大広間等)
- ③ 共催事業として、スポーツセンターにてニューススポーツ大会を実施。

4. センターの維持管理

- ①大阪市によるトイレ全面改修工事
- ②老朽化した蛍光灯具の LED 化による省エネ、長寿命化
- ③建物、消防設備、電気工作物等の定期点検

令和 6 年度 浪速区善意銀行事業報告

【金銭関係】

(金銭保管状況)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前期末支払資金残高	12, 231, 562		
当年度収入	993, 155	当年度支出	1, 848, 580
金銭預託(6 件)	986, 600	金銭払出し(7 件)	1, 680, 000
預金利息	6, 555	振込手数料等	14, 080
		消耗品費	154, 500
		次期繰越額	11, 376, 137
合計	13, 224, 717	合計	13, 224, 717

(金銭預託状況)

(単位：円)

預託年月日	預託者 (敬称略)	金 額
令和 6 年 10 月 20 日	浪速区地域振興会	203, 000 円
令和 6 年 10 月 31 日	三菱 UFJ 銀行	500, 000 円
令和 6 年 11 月 2 日	大原学園	3, 600 円

令和 7 年 1 月 14 日	酒井 智恵子	100,000 円
令和 7 年 1 月 28 日	今宮戎神社	150,000 円
令和 7 年 3 月 28 日	匿名	30,000 円
合計	6 件	986,600 円

(単位：円)

(金銭払出状況)

払出年月日	払出先	金 額	備 考
令和 6 年 7 月 25 日	特定テーマ：福祉ボランティア活動応援資金 点訳サークル浪速 保育ボランティアグループ「いちごみるく」 浪速区食生活改善推進員協議会 喫茶ボランティアグループ「さくら」 精神保健ボランティア「黄色いカエル」 おれんじはあとの会 浪速区健康づくり推進協議会 あすなろ会 浪速区キャラバンメイト連絡会 なにわ・おもちゃ病院 ぐるーぷ ん！ Team MYND	411,999	特定テーマ
令和 6 年 8 月 2 日	社会を明るくする運動	100,000	助成金（一般）
令和 6 年 12 月 13 日	浪速区成人の日記念のつどい実行委員会	100,000	助成金（一般）
令和 6 年 12 月 27 日	三菱UFJ銀行寄付金「子ども食堂活動助成金」申請団体	350,000	助成金（一般）
令和 6 年 10 月 4 日	浪速区こども会活動に関する助成金	150,000	助成金（一般）
令和 7 年 1 月 31 日	こどもカーニバル	50,000	助成金（一般）
令和 7 年 3 月 31 日	浪速区地域振興会	500,000	助成金（一般）
合 計		1,661,999	

【物品関係】

①物品預託状況

(敬称略)

預託年月日	預託者(敬称略)	預 託 内 容
令和6年6月11日	木下 加恵	キャリー、サポーター、靴下等
令和6年6月13日	匿名	冷蔵庫、チェスト、下駄箱
令和6年6月25日	匿名	コピー用紙
令和6年8月24日	梅田 恵三	簡易トイレ他
令和6年8月26日	上新電機労組	車いす×2台
令和6年10月11日	匿名	食器など日用雑貨
令和6年10月15日	匿名	車いす×1台
令和6年11月27日	(株)アイビス	カレンダー(約400部)
令和6年12月12日	中島 逸郎	お菓子
令和6年12月20日	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	食料
令和6年12月20日	高山 修治	文学全集他
令和6年12月23日	匿名	食器など日用雑貨
令和7年1月28日	匿名	折りたたみ式簡易ベッド等
令和7年1月31日	匿名	ホットプレート、折りたたみベッド他
令和7年2月5日	匿名	日用品、衣料等
令和7年2月27日	石浜 侑子	テニスラケット×4本
令和7年3月25日	匿名	ランドセル×1個
令和7年3月27日	匿名	ランドセル×2個

②物品払出状況						
払出年月日	払出先	払 出 内 容				
令和6年6月11日	浪速区社会福祉協議会	キャリー、サポーター、靴下等				
令和6年6月13日	敷津東振興町会	冷蔵庫、チェスト、下駄箱				
令和7年6月25日	浪速区社会福祉協議会	コピー用紙				
令和6年8月24日	浪速区社会福祉協議会	簡易トイレ他				
令和6年8月26日	浪速区社会福祉協議会	車いす×2台				
令和6年10月11日	浪速区社会福祉協議会	食器など日用雑貨				
令和6年10月15日	浪速区社会福祉協議会	車いす×1台				
令和6年12月20日	あじさいの会	クリスマス用ブーツのお菓子×30個				
令和6年12月23日	浪速区社会福祉協議会	食器など日用雑貨				
令和7年1月31日	恵美地区社会福祉協議会	折りたたみベッド				
令和7年1月31日	浪速区社会福祉協議会	ホットプレート、洗いおけ等				
令和7年2月5日	浪速区社会福祉協議会	日用品、衣料等				
令和7年2月17日	浪速区役所保健福祉センター	ランドセル×1				